

# 清友

No. 69

2015年5月



新宿御苑バラ園

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

## 憲法集会 平和といのちと 人権を！



登壇した集会呼びかけ人。発言者



大結集した自治労・日教組の仲間たち

集会呼びかけ人発言で雨宮処凛さんは、「アメリカでは貧困層の若者らが戦場に送られ、日本でも貧困層の若者らが自衛隊に送られつつある」と、戦争が余剰労働者を軍隊にリクルートして戦場へ送り出す構造になっていることを指摘、今年80歳になった大江健三郎さんは、「安倍首相は米議会です、日本がアメリカによる戦争の力強い仲間になると

5月3日、強い日差しが照りつけるなか、横浜みなとみらい「臨港パーク」で「憲法集会」が開かれました。広い会場におさまりきれない3万人(主催者発表)の市民・労働者が結集し、「憲法改悪NO!」を突きつけました。

演説した。日本人はそれを承認も賛同もしていない。」と、憲法学者の樋口陽一さんは、「安保法制は、日本人が武器を持たずに、世界の飢えや環境破壊を減らす地道な貢献をしてきた戦後の誇りを台無しにする。国会で立憲主義の意味を知らない輩が改憲しようとしている。」と、批判しました。退職者会は12名参加し、アメリカとぐるむになって戦争する国への道を、断固拒否する決意を共有しました。

安倍政権は、5月14日に安全保障関連法案を閣議決定し、今国会(6月24日終了)での成立を企んでいます。5月から6月は暑い季節になります。連日、国会前行動等が取組まれ、特に6月14日と24日には大きな集会もたれます。闘うのは「今」です。未来の世代へ禍根を残さないために。

# 今年の親睦旅行は1泊で

## 親睦交流行事拡充を検討

4月28日に第5回幹事会を開催し、①旅行と交流行事アンケート結果の分析、②第8回定期総会議案を審議しました。幹事会に引き続き開催した企画部会と旅行部会では、3月に行った「旅行と交流行事アンケート」結果の分析を基に、旅行会と交流行事のあり方を検討しました。

### アンケート結果の傾向

「旅行と交流行事アンケート」の回収率は、会員数の32%と低く、回答内容の傾向からみて、回答者は現行の旅行参加者や外出を好むアクティブな層が中心だったと思われる、会員の平均像を反映したとはいいがたいものでしたが、今後の取組みへ向けた貴重なデータを得ることができました。

### 試験的に1泊旅行企画

アンケートでは、現行の旅行は支持されているものの、参加者減の傾向が明白になり、

「1泊」を望む会員が増えています。

この点を踏まえ、今年の親睦旅行は試験的に「1泊2日」とすることにしました。なお、来年以降の形態は、今年の結果を踏まえて検討します。

旅行料金は、3万円以内を前提にするつもりです。間に合えば、5月21日の定期総会で、いくつかの企画案を示したいと思っています。

### 「歩こう会」的企画検討

アンケートでは、「街歩き・歴史散歩」「軽登山・ハイキング」の実施や同好会づくりにより高い関心が寄せられましたので、「歩こう会」的な企画が実施可能か検討しました。

新たな行事は、参加者が一定数集まるか、実務的に運営可能か、財政負担など多岐から考える必要があります。秋の行事へ向けて、慎重に検討していくことにしました。



# 満開のツツジ 百花繚乱の花園 ウォーキング

今年のお花見ウォークは、清水公園（野田市）でツツジと季節の花めぐり。4月23日、東武野田線「清水公園」駅に集合。駅前のツツジも満開。

最初に公園入口の金乗院を参拝。大輪のボタンが魅惑的。公園内に入ると、子供たちが小さいころ遊んだ懐かしのアスレチック。「昔は無料だった

「んじやないかな」などと言っているうちに、ツツジ園到着。木製の危なっかしい展望台から見えたのは、ツツジの海。「すごい...」。珍しい色や形のツツジを堪能して歩くうちにおなかもすき、芝生広場でお弁当タイム。アルコールOK。昼食後、季節の花が競演する「花ファンタジア」へ。ツツジ、ボタン、チューリップ、ネモフィラ、名前を覚えきれない数々の花々に感激。参加者は家族含め17名と少なめでしたが、天気にも恵まれて、「来て本当によかった。大満足。」との感想が寄せられ、存分に楽しんだ一日でした。



ツツジの大木にびっくり



「花ファンタジア」フロントガーデン



「花ファンタジア」にて記念写真

# 4月から新介護報酬スタート

今回の介護保険制度改革の最大のテーマは、①給付の重点化と効率化、②地域包括ケアシステムの構築、③介護人材の確保で、介護報酬改定の基本視点は、①在宅中・重度者や認知症高齢者への対応強化、②介護人材確保対策の強化、③サービスの効率化のためのサービス評価の適正化・規制緩和でした。制度改革の到達点と問題点をさぐります。

## 介護報酬改定の概要と問題点

- (1) 報酬水準は大幅引き下げ
  - ① 報酬総額は2・27%減額
  - ② 処遇改善加算は1・65% (1・2万円) 増額、認知症サービス0・56%増額
  - ③ 各サービス基本単価平均4・48%減額
- (2) 新たな利用者負担
  - ① 合計所得160万円以上は利用料2割負担。
  - ② 特養多床室は新たに居室料徴収(月14,100円)
  - ③ 施設利用者への食費居住費補助に資産要件を導入



- (3) 保険料は、政令・中核市の3割が6千円超(1号被保険者は増額)
- (4) 報酬改定の特徴点
  - ① 基本報酬は軒並み減額
  - ② 医療・リハ系報酬は増額
  - ③ 特別養護老人ホームは平均6%減額、小規模多機能・グループホームも大幅減額
  - ④ 予防通所介護は20%減額
  - ⑤ ショートステイ30日超の長期連続入所は減額、静養室等での緊急受け入れ容認
  - ⑥ 特養入所「要介護2以下」は、4要件(認知症、障害、被虐待、独居困難)が必要

## 賃下げ容認で遠くへ処遇改善

処遇改善加算で「1・2万円賃上げ」が可能ではありませんが、厚労省は、経営悪化等を理由に、労使合意すれば「賃下げ」を容認しました。処遇改善加算は働く者のためではなく、経営者のためだったのです。「労使協議・合意」が条件ですから、労組づくりと労組の機能強化が必要になります。

## 退職者会活動日誌

\*3月19日の第11回三役会以降4月28日の第5回幹事会までの3月20日、東京清掃退職者送別会が清掃会館で開催され、三役・幹事5名参加。和気あいあいの楽しい会でした。▼3月28日、フクシマを忘れない! さようなら原発大講演会が新宿文化センターで開催され、4名参加。▼4月9日、都庁退役員会が都庁職会議室で開催され、庄司事務局長と岩淵会計監査が出席。▼引続き、都庁退単会会長会議が開催され、堀田会長が出席。▼引続き、都庁退学習会が都庁職大会議室で開催され、川端自治退事務局長を講師に「年金をめぐる諸情勢」を学習。一般会員含め11名参加。

▼4月16日、自治退都本部幹事会が自治労働本部会議室で開催され、庄司事務局長と小林事務局次長が出席。▼4月21日、東京清掃15春闘連続講座が清掃会館で開催され、戸枝会計と吉田幹事が参加。加藤晋介弁護士による「安倍政権の改憲策動と集団的自衛権行使に向けた法整備」の講演。▼4月23日、清水公園でお花見ウォーク。家族含め17名参加。▼4月28日、第12回三役会を清掃会館で開催し、幹事会議案を検討。▼同日、第5回幹事会を清掃会館で開催。▼事務局会議・事務業務は6回。行事企画、機関紙・定例連絡送付、旅行と行事アンケート集約、会員拡大対策等を行いました。



## 第8回定期総会

〈日 時〉 5月21日(木)  
午前10時受付  
〈場 所〉 清掃会館ホール

## 総会懇親会

〈日 時〉 5月21日(木)  
12時30分  
(総会終了後)

〈場 所〉 清掃会館ホール

※出欠連絡がまだの方は至急お願いします。不参加のかたは委任状(返信用ハガキに記載)を出してください。

## お知り合いを会員に

退職者会は、年金等の高齢者福祉制度について、政府に直接発言可能な唯一の退職者団体です。支えになってくれる会員を増やすため、是非、お知り合いの元組合員を誘ってください。



# 日比谷 メーデー



5月1日、暑いくらいに晴れたわたったなか、日比谷メーデーは約7千名が参加して開催されました。主催者発言の「労働法制の大改悪、戦争体制、TPP、原発再稼働に反対し、安倍政権の暴走を全力で止めよう」に呼応して、会場内は安倍政権打倒への熱い思いが充ちあふれました。また、現場からのアピールでは、非正規差別との闘い、外国人の使い捨て反対の闘い、全員解雇と闘う争議の報告がありました。

退職者会は、19名参加し、東京清掃本部・女性部・青年部と同じ梯団で、退職者会旗を掲げて鍛冶橋まで元気に行進しました。

# 中央 メーデー



4月29日に開催された中央メーデーで、古賀連合会長は「生涯派遣で低賃金を招く労働法制改悪に断固反対」と訴えました。また、連帯挨拶で、アムネスティ・インターナショナルが、「労働問題は人権問題の中の重要な課題。労組としての役割は重要だ」と叱咤したことが印象的でした。



デモ終点の鍛冶橋にて

